

➤ 16日 月曜

ネヘミヤ

9:1 その月の二十四日に、イスラエルの子らは集まって断食をし、粗布をまとして土をかぶった。

9:2 イスラエルの子孫はすべての異国の人々と関係を絶ち、立ち上がって、自分たちの罪と先祖の咎を告白した。

9:3 彼らはそれぞれ所定のところに立って、昼の四分の一は、彼らの神、【主】のみおしえの書を朗読し、次の四分の一は、彼らの神、【主】に告白をして礼拝した。

9:4 ヨシュア、バニ、カデミエル、シェバンヤ、ブンニ、シェレベヤ、バニ、ケナニはレビ人の台の上に立ち、彼らの神、【主】に向かって大声で叫んだ。

9:5 レビ人のヨシュア、カデミエル、バニ、ハシャブネヤ、シェレベヤ、ホディア、シェバンヤ、ペタフヤは言った。「立ち上がって、あなたがたの神、【主】をほめたたえよ。とこしえからとこしえまで。あなたの栄光の御名はほむべきかな。すべての祝福と賛美の上に高く上げられて。

9:6 ただ、あなただけが【主】です。あなたは天と、天の天と、その万象を、地とその上のすべてのものを、海とそこにあるすべてのものを造られました。あなたはすべてのを生かしておられます。天の万象はあなたを伏し拝んでいます。

9:7 あなたこそ神である【主】です。あなたはアブラムを選んでカルデア人のウルから連れ出し、その名をアブラハムとされました。

9:8 彼の心が御前に忠実であるのを見て、あなたは彼と契約を結び、カナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ペリジ人、エブス人、ギル



ガシ人の地を彼の子孫に与えるとされました。そしてその約束を果たされました。あなたは正しい方だからです。

イスラエル人はまず罪の悔い改めをしました。そして聖書を朗読しましたが、それは長い時間でした。彼らがいかに主のみこころを慕い求めていたかがわかります。またさらに長い時間の告白、すなわち罪の悔い改めが続きました。

このように主の前に本気で出て、自分自身を変えて主との関係をまっすぐにする必要があります。単なる習慣としての礼拝やディボーションだけでなく、時には休みの半日など主の前に特別な時間を持つ必要もあるのです。それは今後の指針となる素晴らしい時となるでしょう。

その後、彼らは主をたたえましたが、それは主の素晴らしさを一つ一つ挙げて賛美する具体的なものでした。このように現実の主を心に留めながら具体的にほめたたえることは、私たちのたましいを大いに励まします。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

